

株式会社エフエム茶笛

平成27年度第7回番組審議会議事録

1. 開催年月日：平成28年3月17日（木）17時00分～18時00分

2. 開催場所：株式会社エフエム茶笛 2階 会議室

3. 委員の出席

委員総数：6名

出席委員数：6名

出席委員：大山博（番組審議会委員長） 水村雅啓 佐藤智
黒川進 飯島静江 若月真理子

放送事業者側出席者：代表取締役社長 荻野 喜美雄

専務取締役 東 たか子

放送局次長 宮岡 洋明

技術制作係長 秋山 知広

4. 議 題：番組の放送内容について

5. 議事概要：

議題に沿って各委員お一人お一人の放送聴取の感想・意見・疑問点などを挙げていただき、他の委員と意見を交わす形式にて議事を進行、必要に応じて放送事業者側出席者が説明・回答しながら会を進めた。

6. 審議内容

委員長：

これより各委員からご意見をいただきます。

委員：

交通情報のアナウンスの中で、道路番号では分かりづらいため、渋滞している道路付近の建物や施設名を目標物をアナウンスしていますが、いまいち徹底されていないと感じます。パーソナリティごとに挙げる目標物が異なるため分かりづらく、渋滞する交差点等はある程度決まっていると思いますので、パーソナリティごとに挙げる目標物を統一した方が、リスナーも分かりやすいと思います。

事業者：

交通情報においては、渋滞ポイントのランドマークとして付近の民間施設等を挙げることでその施設にネガティブなイメージを与えてしまうことが無いように、主に公共的な目印を挙げて渋滞ポイントを表現するよう指導しています。目標物の統一においてはご指摘の通り徹底が甘いので、以後、引き続き指導してまいります。

委員：

交通情報の話題になりましたが、私を感じるのは、早口になっている感があるという点です。渋滞の場면을思い浮かべているうちに、次の交差点へアナウンスが進んでいるので、頭の中で整理できないことがあります。

事業者：

交通情報は一定の時間の中に収めるためにテンポよくアナウンスしていますが、特に渋滞している箇所の特化した情報の取捨選択をさせていただきます。

委員：

自主制作の生放送番組は、パーソナリティの個性や経験が活かされていて楽しく聴くことができます。特に子育て世代へ向けた「ハグパーク」は、パーソナリティの体験に基づいたトークが、子育て世代の共感を得られそうで良いです。専門家の方々が電話出演される際に、電話の向こう側の音声聞き取りづらいことがあります。内容がとても良いだけに残念なので、改善策があればと思います。

委員：

子育て世代を対象にした番組を聴きましたが、夏に孫が生まれたことで視点が変わり、トーク内容が身に染みました。恐らく皆さん誰もが自分中心に番組を聴いているものと思いますが、リスナーの幅は非常に広く、様々な世代が生活しているので、それを捉えた番組編成に努めていただきたいですし、それが実現できていると感じました。

事業者：

電話ゲスト出演時の音質についてのご指摘がありました。繋ぎ先の携帯電話・固定電話・受話器と出演者の口の距離や位置により環境が異なります。放送前に電話を繋いだ段階で、番組パーソナリティが受話口の出演者に音声環境の調整を促していくよう指導してまいります。

委員長：

これにて議事を終了致します。

(以上で議事終了)

7. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

審議機関の答申又は改善意見の内容	事業者による対応措置	対応措置の実行年月日
交通情報において渋滞個所を表現する目標物の統一化。	あらためて、主に公共的なランドマークを挙げた渋滞ポイントの表現をパーソナリティへ指導。	平成 28 年 3 月 19 日
電話中継の音質の安定化。	出演者への協力を促すようパーソナリティへ指導。	平成 28 年 3 月 19 日
交通情報の早口解消。	当該パーソナリティへの個別指導。渋滞の程度に応じて情報の取捨選択を指示。	平成 28 年 3 月 19 日

8. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

本議事録を、下記の日時、方法にて公表・閲覧可能と致します。

・3月23日より、弊社ホームページ（URL <http://www.fmchappy.jp>）にて掲載。

9. その他の参考事項

特にありません。

以上

社名	株式会社エフエム茶笛
----	------------